

令和8年3月3日

令和8年第1回神奈川県議会定例会

建設・企業常任委員会報告資料

企 業 庁

目 次

ページ

(報告事項)

I	県営水道の鑄鉄管更新計画について-----	1
II	ベトナム国ランソン省との水道分野における技術協力について-----	3
III	玄倉第2発電所の今後の方向性について-----	5
IV	「プロミティふちのベビル」に係る入札の結果について-----	8

I 県営水道の鋳鉄管更新計画について

令和7年6月に鎌倉市内で発生した鋳鉄管を原因とする漏水事故や、国から鋳鉄管の更新について要請があったことを受け、令和8年1月に県営水道の鋳鉄管更新計画を策定したので報告する。

1 鋳鉄管について

(1) 鋳鉄管の概要

鋳鉄管は衝撃に弱く、耐震性に劣る古い水道管で、県営水道では昭和46年度まで採用していた。

なお、現在は衝撃に強く耐震性も有した「ダクタイル鋳鉄管」を採用している。

(2) 国（国土交通省）からの要請

国は令和7年6月に、安定給水を行うとともに漏水事故による社会的な影響を回避することを目的に、漏水リスクの高い鋳鉄管の抜本的な解消に向けて、各水道事業者に「鋳鉄管更新計画」の策定を要請した。

[対象管路と計画期間]

- ① 緊急輸送道路下に埋設されている鋳鉄管
(令和8年度から令和12年度までの5年間)
- ② ①以外の基幹管路（導水管・送水管・配水本管）
(令和8年度から令和17年度までの10年間)

(3) 県営水道における鋳鉄管の状況

鋳鉄管の状況とその内訳は以下のとおり。

表1 鋳鉄管の状況（延長は令和6年度末時点）

区 分	延 長
全管路	約9,500 km
うち鋳鉄管	459 km
うち国の要請対象	67 km

表2 鑄鉄管の内訳（延長は令和6年度末時点）

区 分	基幹管路	配水支管	小計	合計	鑄鉄管総延長
① 緊急輸送道路下	5 km	32 km	37 km	67 km	459 km
② 緊急輸送道路下 以外の基幹管路	30 km	—	30 km		
③ その他の配水支管	—	392 km	392 km	392 km	

※ 太枠が国の要請対象。数値は四捨五入。

2 鑄鉄管更新計画の概要

(1) 計画期間

令和8年度から令和17年度までの10年間

(2) 年次別更新計画

国の要請に含まれない「その他の配水支管」も含め、全ての鑄鉄管を計画の対象とした。

表3 年次別更新計画

[単位：km]

区 分	R08	R09	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	完了 目途
①緊急輸送道路下	3.8	9.3	9.6	5.5	4.1	2.9	0.6				R14
②緊急輸送道路下 以外の基幹管路	1.9	1.0	4.9	2.5	3.8	1.0	1.1	1.5	0.1	4.7	R20
③その他の配水支管	32.7	28.0	28.0	30.0	23.9	36.0	38.5	31.2	24.5	22.8	R21
合 計	38.4	38.3	42.5	38.0	31.8	39.9	40.1	32.7	24.5	27.5	

※ 太枠が国の要請対象。端数処理により合計が一致しない場合がある。

「①緊急輸送道路下」は7年間（令和14年度）、「②緊急輸送道路下以外の基幹管路」は13年間（令和20年度）で、それぞれ更新を完了する予定である。

なお、国の要請に含まれない「③その他の配水支管」は、14年間（令和21年度）で完了する見通しである。

3 今後の取組

国庫補助金を最大限に活用して最優先で予算措置をするとともに、担当職員の重点配置を図るほか、道路工事や下水道・ガス工事との同時施工を働きかけることなどにより、計画の着実な実施に向けて取り組む。

Ⅱ ベトナム国ランソン省との水道分野における技術協力について

1 趣旨

企業庁では平成28年度からベトナム国のランソン省及びフンイエン省と交流を開始し、その後両省と「水道分野における技術協力に関する覚書」を締結して、具体的な技術協力を行っている。

この度、ランソン省との覚書期間満了に伴い、ランソン省から技術協力を継続してほしいとの要望を受け、覚書の期間を延長したので報告する。

2 技術協力に関する覚書

ランソン省は、無収水量*が多いことや、職員の漏水調査技術の不足などの課題を抱えていたことから、企業庁に水量管理に係る技術支援の要請があり、平成30年11月に水量管理計画の策定支援や、技術・経験・知識の供与を目的とする覚書を締結した。

※ 無収水量：漏水などにより料金収入の対象外となってしまう水量

3 これまでの技術協力の取組と成果（平成30年11月～令和7年12月）

モデル地区を選定し、ランソン省の職員に対して、配水量メータ増設によるエリアごとの水量分析や漏水調査などの技術指導を行うとともに、企業庁が研修員を受け入れて、水量管理に必要な送配水量の把握方法など水道技術に関する基礎的な講義や、漏水調査技術の指導等を実施した。

7年間の取組の結果、モデル地区の無収水率は当初の33%から16%に改善した。

4 覚書期間の延長と今後の取組

(1) 延長の経緯

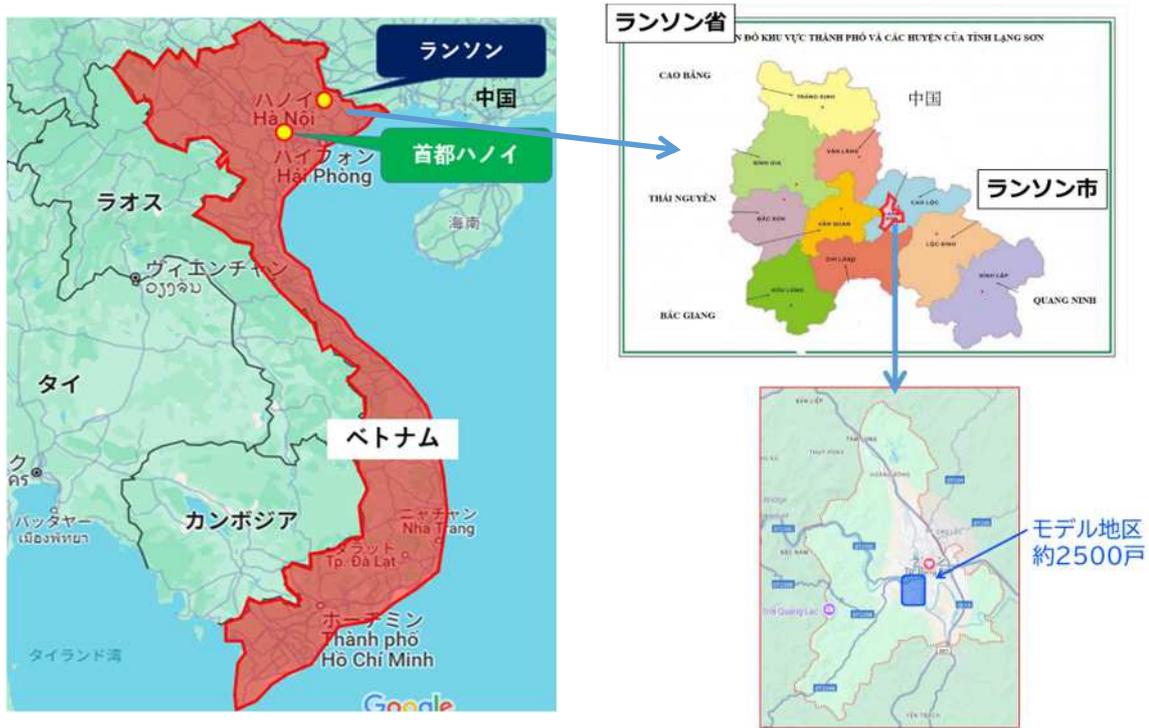
当初の覚書期間の満了に向け「無収水率が改善したモデル地区の取組を他地域にも横展開したい」との要望がランソン省から示されたことを受け、令和7年12月末に覚書の期間を3年間延長（令和10年12月まで）した。

(2) 今後の取組

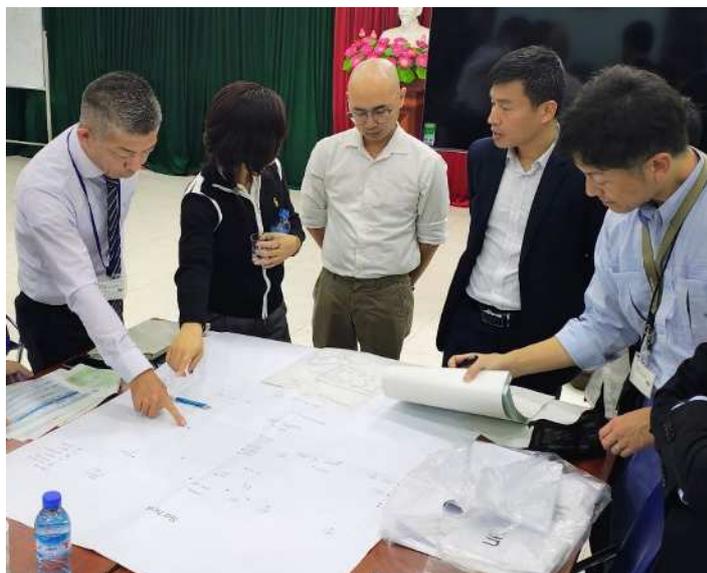
今後、延長期間における目標及び年次計画を策定する。

また、ランソン省の職員の漏水調査や水量管理の技術が向上したことから、オンラインを中心に技術指導を進める。

(参考1) ランソン省の位置



(参考2) これまでの取組状況



水量分析結果の確認



漏水調査の実施

Ⅲ 玄倉第2発電所の今後の方向性について

熊木ダム（以下「ダム」という。）及び玄倉第2発電所（以下「発電所」という。）は、県営林道玄倉線（以下「林道」という。）及び林野庁所管の治山運搬路（以下「運搬路」という。）の斜面崩落や路面陥没の影響により、平成30年から運転を停止してきた。

これまでは可能な範囲で施設の状態を確認しながら運転再開に向けた検討を行ってきたが、今般、廃止に向けて関係機関と協議を進めることとしたため報告する。

1 施設概要（位置関係は「6 位置図」を参照）

(1) 熊木ダム（発電所から約5km上流にある発電用ダム）

ダム形式 重力式コンクリートダム
高 さ 14.9m
長 さ 34.5m



(2) 玄倉第2発電所

最大出力 2,900kW
年間供給電力量 約8百万kWh※
運転開始日 昭和35年1月
※ 一般家庭約2千6百世帯の年間消費電力量に相当



2 経緯

平成30年1月	林道で大規模な斜面崩落が発生し、ダムと発電所への通行が不能となったことから、運転を停止
令和4年4月	斜面崩落対策工事が完了し、林道は通行可能となったが、運搬路で複数の斜面崩落が確認され、停止を継続
令和6年12月	ダム手前の運搬路に、新たに複数の路面陥没が確認され、運搬路の通行再開が延期
令和7年度	林野庁が運搬路の陥没箇所を調査 企業庁がダムと発電所設備の状況を調査
令和8年度	林野庁が運搬路の復旧工事を実施（予定）

3 施設の現状

- ・ ダムについて、コンクリート構造物には異常はないが、ダムのゲート設備や取水設備などの電気・機械設備は、錆などによる劣化が著しく、改修が必要と考えられる。
- ・ 発電所について、長期間の停止に伴い水車発電機や補器類で錆などによる劣化が著しいことが確認できたほか、配電盤などが耐用年数を過ぎていることから、大規模な再整備が必要と考えられる。

4 運転再開に向けた課題

施設の現状を踏まえ、改めて運転再開に向けた詳細な検討を行ったが、県営電気事業の経営上、以下の理由により再開は困難と判断し、発電所の廃止に向けて協議を進めることとした。

(1) 運転再開スケジュール

運搬路の通行再開時期が見通せず、運転再開に向けたスケジュールを立てられない。

(2) 再整備費用の回収

令和7年度に、具体的な再整備方法の検討や費用の見積もりを行ったところ、再整備にかかる費用が多額であることが判明した。

運転を再開したとしても再整備費用の回収に相当の期間を要し、その間に更なる自然災害により運転不可能になる懸念もあることから、回収は困難であることが明らかになった。

5 取組の方向性

令和8年度からは発電所の廃止に向けて、林野庁や東京電力パワーグリッド(株)などの関係機関と協議を進めていく。

併せて、ダムも含めた廃止後の諸施設の撤去など、廃止に向けた課題を整理するため、必要な調査を実施する。

6 位置図

令和8年2月現在



IV 「プロミティふちのベビル」に係る入札の結果について

プロミティふちのベビルの売却に係る入札を実施したので、結果を報告する。

1 ビルの概要等

(1) 所在地

相模原市中央区鹿沼台一丁目9番15号

(2) 敷地面積

3,480.15㎡

(3) 規模構造

鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上7階

(4) 延床面積

10,594.76㎡

(5) 竣工

平成3年

2 入札の概要

(1) 予定価格

532,500,000円（税抜）

(2) 開札日

令和7年11月18日

3 入札の結果

(1) 落札価格

611,170,000円（税抜）

(2) 入札者数

2者

(3) 落札者

株式会社サンエー 代表取締役社長 庵崎 栄
横須賀市三春町四丁目1番地10

(4) 契約締結日

令和8年1月19日

4 今後のスケジュール

令和8年3月31日 引渡し

【参考】



<位置図>



<ビル外観>